

平成20年学外研究活動報告

(平成20年1月～12月)

本報告は会員から報告のあったものを掲載してあります。——◇運営委員会

〔学会報告〕

報告者名	題 目	学 会 名	月
師 尾 晶 子	アテナイ帝国主義—貢租初穂表と貢租納入の政治性と儀礼性	Parthenon Project 2007 公開シンポジウム (文科省科研費基盤研究A)	1
師 尾 晶 子	ポリス世界の連続性と展開—エヴェルジェティスムの側面から	日本西洋史学会 第58回大会	5
山 本 崇 雄	Toward International Knowledge Management in Japanese Multinationals: Cases of YKK and Toshiba	The 21st Annual Meeting, Academy of Japanese Business Studies	6
平 井 友 行	ソブリン・ウェルス・ファンド (SWF) の在り方について	日本公共選択学会	7
Akira Nakamura [㊦]	A Quantitative Study on the Relationship between Learner Autonomy and Academic Grades	JADE-PacADE International Conference	9
平 井 友 行	ヘッジファンド投資の在り方について	日本FP学会	9
平 井 友 行	日本における年金資産運用の在り方について	日本計画行政学会	9
石 毛 雅 章	ヴィクトリア朝のIT革命とルイス・キャロル	日本ルイス・キャロル協会	11
田 村 充 代	Politics of Cancer—the law making process of Fundamental law of cancer, in comparison of Brain death and organ transportation, and Ban on Human Cloning laws—	Graduate School of Public Administration, Seoul National University International Conference 2008.	11
山 下 純 照 [㊦]	シンポジウム報告 ライブとメディア ——その相互作用をめぐって——	日本演劇学会	11
山 本 崇 雄	International Knowledge Management in Japanese Enterprises	Korea Trade Research Association	12

〔寄稿〕

執筆者名	論文名	掲載誌名その他	月
吉田 正 人	調和化から収斂に向けた国際会計基準改訂プロセス—減価償却の会計基準における生成・発展をケースにして—	『信州短期大学紀要』19巻	3
山本 崇 雄	素材化学メーカーによる健康食品事業への参入—ベータグルカンを事例として—	『化学経済』55巻6号	5
師尾 晶 子	How did People Enjoy Epigraphic Culture in Ancient Greece? —Inscribing Names on Monuments	平成16-18年度科研費基盤研究(C)(2)研究成果報告書『古代ギリシアのポリスにおける碑文慣習文化に関する研究』	6
長谷川 博	マーケティング組織原論	『企業診断』55巻7号	7
平井 友 行	地域再生ファンドの特徴とその効果の検討	『計画行政』31巻3号	9
山本 崇 雄	ダイバーシティ・マネジメントと国際ビジネス	『世界経済評論』52巻10号	10
吉川 久 治	「ワシントン・コンセンサス」の破綻と中南米—地域金融協力の展開を中心に—	『経済』157号	10
田野 宏	わが国における戦後農政の展開と地理学	『地理誌叢』50巻1号	11

〔著書〕

執筆者名	書名	発行所	月
田野 宏 [㊦]	『農業地域情報のアーカイブと地域づくり』	成文堂	3
山本 崇 雄 [㊦]	『国際ビジネス入門』	中央経済社	3
山本 崇 雄 [㊦]	『国際ビジネス理論』	中央経済社	3
松田 和 久 [㊦]	『一般社団法人・財団法人の法務と税務』	財経詳報社	5
松田 和 久 [㊦]	『現代会社法用語辞典』	税務経理協会	8
今村 卓 郎 [㊦]	『スポーツ次元』	Drei T.	10